

「研修プログラムガイド2024」及びウェブ掲載原稿の作成について（案）

（趣旨）

SPOD加盟校において実施するFD／SDプログラムの中で、SPOD加盟校に開放可能なプログラムについては、予め内容及びスケジュールを示すことにより、加盟校の教職員が参加しやすいようにする。また、各加盟校で実施しているプログラムを参考にできるようにする。

（対象プログラム）

全SPOD加盟校の1～5のプログラム

1. FD（主に教員対象）、2. FD／SD（教職員対象）
3. プレFD（大学生・学部生対象）、4. SD（主に職員対象）、5. 総合

（研修プログラムガイド全体構成）

これまで同様、全8ページの構成とし、各プログラムの詳細はウェブサイトに掲載する。

（ウェブサイト掲載内容）

1. 開催県 2. 対象 3. プログラム名 4. 日程 5. 時間 6. 場所
7. 受講定員 8. 主な対象者 9. 対象校 10. 講師 11. 目標 12. 内容
13. 準備物 14. 参考資料 15. 受講者の声 16. 主催 17. 申込締切
18. 申込・問い合わせ先 19. 新規・継続の別 20. カテゴリ分類
21. 遠隔配信 22. FDレベルマップ 23. 参考となる写真等

（原稿依頼）

SPOD事務局（愛媛大学教育企画課）から、加盟校事務担当者へ依頼する。各コア校事務担当者は、各県内加盟校分をとりまとめ、SPOD事務局へ提出する。

（発行時期等）

発行時期：令和5年3月下旬

発行部数：PDFデータのみ

編集責任校：愛媛大学（担当：教育・学生支援機構教育企画室、SPOD事務局）

※作成にあたっては、各コア校と連携・協力して行う。

【作成スケジュール案】

提出期限	提出物	提出先
各校で定める期限	・ S P O D 開放プログラム原稿	研修講師→各加盟校
令和 6 年 1 月 2 6 日（金）	・ S P O D 開放プログラム一覧 ・ 学内向け研修プログラム一覧	各加盟校→各コア校
令和 6 年 2 月 5 日（月）	・ S P O D 開放プログラム一覧 ・ 学内向け研修プログラム一覧 ※各コア校でチェック済みの原稿	各コア校（県内加盟校分を取りまとめ） → S P D O 事務局
令和 6 年 2 月中旬～下旬	【プログラムガイド】 業者初稿現行渡し 【ウェブサイト】 イベント情報入力作業開始	
令和 6 年 3 月下旬（予定）	【プログラムガイド】公開 【ウェブサイト】公開	

SPOD開放プログラム一覧

加盟校用【様式1-1】

- ①本シートには大学名のみ記入してください。大学名以外は各シートに貼り付けた内容が反映されます。
 - ②研修講師から提出された「SPOD開放プログラム原稿(様式1-2)」のセルをコピーし、シート「001」～「015」に貼り付けてください。
 - ③プログラムについて備考がある場合は、シート「001」～「015」の備考欄にご記入をお願いします。
- シートが余っても構いません。シートが足りない場合は、本エクセルファイルを複製して2つに分けてご提出ください。

シートが余っても構いません。シートが足りない場合は、本エクセルファイルを複製して2つに分けてご提出ください。

																		大学名	
シート	日程	プログラム名	対象	遠隔	新規	ミクロ				ミドル				マクロ				備 考 (あればご入力ください)	
001			選択してください																
002			選択してください																
003			選択してください																
004			選択してください																
005			選択してください																
006			選択してください																
007			選択してください																
008			選択してください																
009			選択してください																
010			選択してください																
011			選択してください																
012			選択してください																
013			選択してください																
014			選択してください																
015			選択してください																

(留意事項)

1. 令和6年1月26日(金)までに所属する県のコア校に提出してください。コア校は各県内加盟校の原稿をとりまとめの上、令和6年2月5日(月)までに愛媛大学教育企画課(spod@stu.ehime-u.ac.jp)に提出してください。

2. SPOD内講師派遣プログラムはプログラムガイドに別途掲載するため、本シートに記載する必要はありません。

SPOD開放プログラム原稿口

様式I-2のシートの0列7～45行をコピーして本シート0列に貼り付け後、備考があればセル0列4行目（赤枠内）にご入力ください。

備考
※あればご入力ください。

項目	記載内容等	備考
1 開催県	選択してください	【徳島、香川、愛媛、高知】から選択
2 対象	選択してください	【FD、FD/SD、SD、ブレFD、総合】から選択
3 プログラム名		
4 開始日程 ※例 2024/4/5 終了日程 ※複数日開催の場合の		半角数字、西暦/月/日の形式で入力してください。
5 時間 ※例 13:00～15:00		複数日開催の場合のみ半角数字、西暦/月/日の形式で入力してください。
6 場所	〇〇大学〇〇キャンパス〇〇棟〇〇号館〇階△△教室	場所は具体的な教室名（建物名、階）まで入力してください。
7 受講定員		半角数字
8 開催方法		記入時の予定をお知らせください。 例：対面、遠隔（同期）、遠隔（非同期）、遠隔・対面の併用 など
9 主な対象者		<記入例>教員、教職員、新任教員、主任級職員 等 ■主な対象者 対象者は、ニーズとのミスマッチを防ぐために、教員、職員、大学院生などの職種やニーズを明確に表現してください。複数を対象としても構いません。 例1）授業でのグループディスカッションやゼミでのディスカッションをより活性化させたい教員 例2）FDを担当する教職員 例3）新任教員（但し、授業担当経験5年以上を除く）、参加を希望する教員 例4）全教員、とりわけ講義を持つようになって間もない教員 例5）職員（課長補佐以上） また、記載方法については、以下の点にご留意ください。 ・記載の統一 「事務職員、大学職員等」→「職員」 「新規に採用された教員、初任者教員等」→「新任教員」 ・対象校を表す言葉（〇〇大学、SPOD加盟校等）を使用しない。 「・・・であるSPOD加盟校の職員」→「・・・である職員」 「・・・以上の愛媛大学教職員」→「・・・以上の教職員」 ・役職を統一する（大学独自の役職名ではなく、一般的な役職名にする）。 「カール・リーダー」、 「副課長」、 「チャリダー」等は使用せず、「課長」「課長補佐」、 「係長」、「主任」、「係員」とする。
10 対象校		<記入例>SPOD全加盟校、〇〇県内SPOD加盟校 等 ■対象校（地域別、設置形態別） できる限りSPOD全加盟校に開放してください。記載方法は、以下例示のように記載してください。 例1）SPODの全加盟校に開放する場合・・・SPOD全加盟校 例2）愛媛県内加盟校のみに開放する場合・・・SPOD加盟校（愛媛県内のみ） 例3）短期大学のみ開放する場合・・・SPOD加盟校（短期大学のみ） 例4）愛媛県内の私立大学のみ開放する場合・・・SPOD加盟校（愛媛県内の私立大学のみ）
11 講師		講師氏名（所属大学 所属部署名） <記入例>〇山〇夫（〇〇大学〇〇）
12 目標		
13 内容		対象プログラムがどのようなことを行うか分かるように詳しく記載してください。例えば、章毎のタイトルなどを明示するとわかりやすくなります。
14 準備物		あれば入力してください。 <記入例>自身が担当する授業のシラバス
15 参考資料		あれば入力してください。 <記入例>著者名（発行年）『書籍名』（出版社）
16 受講者の声		アンケート等から、あれば入力してください。
17 主催		<記入例>愛媛大学 教育企画室
18 申込締切		<記入例>要問合せ、開催日〇週間前・先着順 等
19 申込・問合せ		<記入例>担当部署、連絡先メールアドレス
20 新規・継続の別	選択してください	新たに開催または新たに研修プログラムガイドに記載するプログラムに加えて、前年度から大幅に内容を変更したプログラムも「新規」としてください。
21 テーマ	選択してください	選択肢【授業の基本／参加型学習／ICT／多様な学生への支援／総合プログラム／ブレFD／ポートフォリオ／マネジメント／職場における多様性と健康／授業改善／ビジネススキル／リーダーシップ・組織開発／その他】 テーマは、SPODウェブサイトのイベント絞り込み検索に使用します
22 F/Dレベルマップ（F/D研修のみ要入力）	ミクロ フェーズ I 導入 (気づく・わかる) II 基本 (実践できる) III 応用 (開発・報告) IV 支援 (教えられる) ミドル フェーズ I 導入 (気づく・わかる) II 基本 (実践できる) III 応用 (開発・報告) IV 支援 (教えられる) マクロ フェーズ I 導入 (気づく・わかる) II 基本 (実践できる) III 応用 (開発・報告) IV 支援 (教えられる)	恒々の教員 授業・教授法 教務委員 カリキュラム・プログラム 管理者 組織の教育環境・教育制度 左表の太枠内、該当するフェーズに○を入れてください。（選択式） レベルは「ミクロ・ミドル・マクロ」の3段階 × フェーズⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの4段階で表されます。 ※本項目はF/Dレベルマップのため、S/Dプログラムは入力不要です。
23 参考写真等	選択してください	【あり、なし】から選択 参考となる写真、ポンチ絵(スライド)等があればお送りください。

※リーフレット版プログラムガイド及びウェブ掲載原稿作成に必要ですので以下1～23の網掛け部分に記載してください。

項目		記載内容等	備考
1	開催県	選択してください	【徳島、香川、愛媛、高知】から選択
2	対象	選択してください	【FD、FD/SD、SD、ブレFD、総合】から選択
3	プログラム名		
4	開始日程		半角数字、西暦/月/日の形式で入力してください。
※例	2024/4/5		
終了日程			複数日開催の場合のみ半角数字、西暦/月/日の形式で入力してください。
※複数日開催の場合のみ			
5	時間		半角数字
※例	13:00～15:00		
6	場所	〇〇大学〇〇キャンパス〇〇棟〇号館〇階△△教室	場所は具体的な教室名（建物名、階）まで入力してください。
7	受講定員		半角数字
8	開催方法		記入時の予定をお知らせください。 例：対面、遠隔（同期）、遠隔（非同期）、遠隔・対面の併用 など
9	主な対象者		<記入例>教員、教職員、新任教員、主任級職員 等 ■主な対象者 対象者は、ニーズとのミスマッチを防ぐために、教員、職員、大学院生などの職種やニーズを明確に表現してください。複数を対象としても構いません。 例1）授業でのグループディスカッションやゼミでのディスカッションをより活性化させたい教員 例2）FDを担当する教職員 例3）新任教員（但し、授業担当経験5年以上を除く）、参加を希望する教員 例4）全教員、とりわけ講義を持つようになって間もない教員 例5）職員（課長補佐以上） また、記載方法については、以下の点にご留意ください。 ・記載の統一 「事務職員、大学職員等」→「職員」 「新規に採用された教員、初任者教員等」→「新任教員」 ・対象校を表す言葉（〇〇大学、SPOD加盟校等）を使用しない。 「・・・であるSPOD加盟校の職員」→「・・・である職員」 「・・・以上の愛媛大学教職員」→「・・・以上の教職員」 ・役職を統一する（大学独自の役職名ではなく、一般的な役職名にする）。 「グループリーダー」、「副課長」、「チームリーダー」等は使用せず、「課長」「課長補佐」、「係長」、「主任」、「係員」とする。
10	対象校		<記入例>SPOD全加盟校、〇〇県内SPOD加盟校 等 ■対象校（地域別、設置形態別） できる限りSPOD全加盟校に開放してください。記載方法は、以下例示のように記載してください。 例1）SPODの全加盟校に開放する場合・・・SPOD全加盟校 例2）愛媛県内加盟校のみに開放する場合・・・SPOD加盟校（愛媛県内のみ） 例3）短期大学のみに開放する場合・・・SPOD加盟校（短期大学のみ） 例4）愛媛県内の私立大学のみに開放する場合・・・SPOD加盟校（愛媛県内の私立大学のみ）
11	講師		講師氏名（所属大学 所属部署名） <記入例>〇山〇夫（〇〇大学〇〇）
12	目標		
13	内容		対象プログラムがどのようなことを行うか分かるように詳しく記載してください。例えば、章毎のタイトルなどを明示するとわかりやすくなります。
14	準備物		あれば入力してください。 <記入例>自身が担当する授業のシラバス
15	参考資料		あれば入力してください。 <記入例>著者名（発行年）『書籍名』（出版社）
16	受講者の声		アンケート等から、あれば入力してください。
17	主催		<記入例>愛媛大学 教育企画室
18	申込締切		<記入例>要問合せ、開催日〇週間前・先着順 等
19	申込・問合せ		<記入例>担当部署、連絡先メールアドレス
20	新規・継続の別	選択してください	新たに開催または新たに研修プログラムガイドに記載するプログラムに加えて、前年度から大幅に内容を変更したプログラムも「新規」としてください。
21	テーマ	選択してください	選択肢【授業の基本／参加型学習／ICT／多様な学生への支援／総合プログラム／ブレFD／ポートフォリオ／マネジメント／職場における多様性と健康／授業改善／ビジネススキル／リーダーシップ・組織開発／その他】 テーマは、SPODウェブサイトのイベント絞り込み検索に使用します
22	F D レベルマップ（F D 研修のみ要入力）		
	ミクロ フェーズ I 導入 （気づく・わかる） II 基本 （実証できる） III 応用 （開発・報告） IV 支援 （教えられる）	個々の教員 授業・教授法	
	ミドル フェーズ I 導入 （気づく・わかる） II 基本 （実証できる） III 応用 （開発・報告） IV 支援 （教えられる）	教務委員 カリキュラム・プログラム	
	マクロ フェーズ I 導入 （気づく・わかる） II 基本 （実証できる） III 応用 （開発・報告） IV 支援 （教えられる）	管理者 組織の教育環境・教育制度	
23	参考写真等	選択してください	【あり、なし】から選択 参考となる写真、ポンチ絵(スライド)等があればお送りください。

令和6年度学内向け研修プログラム一覧

所属機関名		担当部署	
担当者氏名		Eメール	
電 話		ファックス	

研修名	対象者	開催時期	目的・内容

(留意事項)

1. 本一覧は、令和4年度に各大学等において、学内向けに行うFD／SD／プレFD研修・研究会等を、他の加盟校が参考にするために「研修プログラムガイド2022」やSPODウェブサイトに掲載予定ですので、**令和6年1月26日(金)までに**所属する県のコア校に提出してください。コア校は各県内加盟校の原稿をとりまとめの上、**令和6年2月5日(月)までに**愛媛大学教育企画課(spod@stu.ehime-u.ac.jp)に提出してください。
 2. SPOD内講師派遣プログラムについては、記載不要です。
 3. 「令和5年度学内向け研修プログラム一覧(参照1)」を参考に記入してください。
- ※開催時期について、未定の場合は「〇月中旬」、「未定」等で構いません。
- ※適宜枠を増やしてご利用ください。

(記載例)

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修	新規採用者(教職員)	4月8日(月)～9日(火)	新たに採用になった教職員に対し、本学職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。

SPOD

研修プログラムガイド 2023

Shikoku
Professional and
Organizational
Development Network in Higher Education



四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

プログラム一覧

SPOD 2023

日 程	プログラム名	開催校	対象	遠隔	新規	※1 レベル・フェーズ			※2 プログラム 番号
						ミクロ	ミドル	マクロ	
4月7日(金)	大学授業入門	高知大学	FD			I・II			Y-001
4月13日(木)・20日(木)	合理的配慮の必要な学生に対する授業実践授業について考えるランチセミナー	徳島大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-001
4月27日(木)	会議マネジメント	愛媛大学	FD/SD			I・II		I	I-001
5月10日(水)～11日(木)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(新任職員)	香川大学	SD	オンデマンド・対面の併用					K-001
5月11日(木)・18日(木)	オンライン授業におけるアクティブラーニング実践授業について考えるランチセミナー	徳島大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-002
5月12日(金)	ARCS動機づけモデルを活用した学習意欲を高める授業設計	愛媛大学	FD			I・II	I	I	I-002
5月17日(水)	ジグソー学習法入門	愛媛大学	FD			I・II			I-003
5月17日(水)	学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計-課題分析図の活用-	愛媛大学	FD			I・II・III	I・II	I・II	I-004
5月18日(木)	アクティブラーニング入門セミナー	愛媛大学	FD			I・II			I-005
5月24日(水)～25日(木)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)	高知大学	SD						Y-002
6月1日(木)～30日(金)	学習評価の基本	愛媛大学	FD	遠隔(非同期)		I・II			I-006
6月8日(木)・15日(木)	形成的評価とフィードバックの方法授業について考えるランチセミナー	徳島大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-003
6月15日(木)～16日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルII)	愛媛大学	SD						I-007
6月24日(土)～25日(日)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	FD			I・II			I-008
6月24日(土)～25日(日)	アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	FD			I・II・III・IV			I-009
7月13日(木)～14日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)	徳島大学	SD						T-004
7月13日(木)・20日(木)	大学の授業と著作権授業について考えるランチセミナー	徳島大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-005
8月23日(水)～25日(金)	SPODフォーラム2023	愛媛大学	総合			I・II・III・IV	I・II・III・IV	I・II	I-010
8月28日(月)～29日(火)	授業設計ワークショップ	徳島大学	FD			I・II			T-006
8月31日(木)～9月1日(金)	よりよい授業のためのFDワークショップ	香川大学	FD			I			K-002
9月5日(火)	大人数講義法の基本	愛媛大学	FD/SD	遠隔(同期)		II			I-011
9月6日(水)	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン-考え方と進め方-	高知大学	FD			I・II			Y-003
9月6日(水)	オンラインツールを用いてグループワークをやってみよう	高知大学	FD/SD	遠隔・対面の併用		I・II			Y-004
9月6日(水)～8日(金)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	徳島大学	FD			I・II・III			T-007
9月7日(木)	eラーニング活用(入門編) -学習支援システムMoodle/ソフトを活用してきめ細やかな学習支援を実現しよう-	愛媛大学	FD/SD			I・II			I-012
9月7日(木)～8日(金)	授業デザインワークショップ	愛媛大学	FD			II・III			I-013
9月7日(木)～8日(金)	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	高知大学	FD			I・II			Y-005
9月14日(木)・21日(木)	授業時間外学習を促す授業計画の仕方授業について考えるランチセミナー	徳島大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-008

※1 対象について ■…FD「主に教員対象」 ■…SD「主に職員対象」 ■…FD/SD「教職員対象」

※2 レベル・フェーズについては、ナカ面の「主に教員の方へ」ページ下部の「SPOD-FDプログラムのレベルについて」をご覧ください。

日 程	プログラム名	開催校	対象	遠隔	新規	※2 レベル・フェーズ			プログラム 番号
						ミクロ	ミドル	マクロ	
9月19日(火)	動画教材作成法	愛媛大学	FD/SD			I・II			I-014
9月21日(木)	多様化するTAの動向と協働	香川大学	FD		●	I			K-003
9月21日(木)	充実させよう!アクティブラーニング型授業 ー話し合い・教えあいの技法	香川大学	FD			I			K-004
9月22日(金)	充実させよう!アクティブラーニング型授業 ー図解・文章作成の技法	香川大学	FD			I			K-005
9月22日(金)	充実させよう!アクティブラーニング型授業 ー問題解決の技法	香川大学	FD			I			K-006
9月22日(金)	事例から学ぶ問題発見・解決型授業のコツ	香川大学	FD			I			K-007
10月5日(木)～6日(金)	大学人・社会人としての 基礎力養成プログラム(レベルⅢ)	愛媛大学	SD						I-015
10月12日(木)・19日(木)	合理的配慮の必要な学生に対する学生支援実践 (アカデミックアドバイザー)授業について考えるランチセミナー	徳島大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-009
10月19日(木)～20日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)	香川大学	SD						K-008
11月1日(水)～2日(木)	大学人・社会人としての 基礎力養成プログラム(レベルI)	愛媛大学	SD						I-016
11月9日(木)・16日(木)	学生の学習を促す試験問題・レポート課題の作り方 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-010
11月29日(水)～30日(木)	大学人・社会人としての 基礎力養成プログラム(レベルII)	愛媛大学	SD						I-017
11月29日(水)～30日(木)	次世代リーダー養成ゼミナール(第4回)	愛媛大学	SD						I-018
12月6日(水)	学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	愛媛大学	FD/SD	遠隔(非同期)あり		I・II・III	I・II	I・II	I-019
12月14日(木)・21日(木)	質的データの扱い方 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-011
12月25日(月)	学生の学びを促すシラバスの書き方	香川大学	FD			I			K-009
12月25日(月)	学生参加型授業の技法	香川大学	FD			I			K-010
12月25日(月)	基礎から学ぶ学習評価法	香川大学	FD			I			K-011
12月26日(火)	シラバス・授業を改善しよう!	香川大学	FD			II			K-012
12月26日(火)	第19回大学教育カンファレンスin徳島	徳島大学	総合	遠隔・対面の併用		I・II・III	I	I	T-012
1月11日(木)・18日(木)	オンデマンド授業の作り方 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-013
1月18日(木)～19日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第5回)	愛媛大学	SD						I-020
2月5日(月)	新任教員のためのリフレクションセミナー	高知大学	FD			I・II			Y-006
2月5日(月)	能動的学修支援者必須!グループワークの ためのファシリテーション入門	高知大学	FD			I・II			Y-007
2月8日(木)・15日(木)	アンケートの作り方・分析の仕方 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-014
2月16日(金)	留学生とのコミュニケーション	愛媛大学	FD			I・II			I-021
3月	愛媛大学教育改革シンポジウム	愛媛大学	総合			I・II・III・IV	I・II・III・IV	I・II・III・IV	I-022

掲載内容は令和5年3月時点の予定です。プログラムの実施は状況に応じて変更・中止となる場合があります。

申込方法を含め、詳細はSPODホームページに掲載のイベント情報をご確認ください。

SPODホームページ ▶ <https://www.spod.ehime-u.ac.jp/>



教員・職員の方へ

SPODフォーラム

最新情報や過去の概要はこちら▶
<https://www.spod.ehime-u.ac.jp/forum/>



SPODフォーラムは、大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様な質の高いFD／SDプログラム、ならびに組織を越えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供します。

【SPODフォーラムの特徴】

1. 多彩な講師陣
2. 職場で使える実践型プログラム
3. SDプログラムも多数開講

【SPODフォーラム2023】

日 時 / 令和5年8月23日(水)～8月25日(金)

場 所 / 愛媛大学城北キャンパス

テーマ / 「未来を切り拓く力を育成する」

研修料 / 1. SPOD加盟校の教職員：無料
2. SPOD加盟校以外の教職員：10,000円

申込み / 専用WEBフォームから申込み
※申込期間等の情報はSPODホームページでお知らせします。



【参加者の声】

- 教育改善に対する意識の高い教職員が集まっているため、自身の今後の業務に対するモチベーションが高まった。
- 地域や規模の異なるさまざまな先生方から、具体的に先進的な情報をいただくことができた。
- 普段の業務では得られない幅広い知識を得ることができ、視野が広がった。
- 様々な幅広いプログラムが提供されており、多くの教職員と交流を持てた。

大学カンファレンスin徳島

最新情報や過去の概要はこちら▶
<https://www.tokushima-u.ac.jp/highedu/reform/fd/docs/22457.html>



徳島大学では、これまでの教育活動の成果を検証し、教育実践研究を充実・発展させる機会となるよう、大学教育カンファレンスを毎年開催しています。

【第19回大学教育カンファレンスin徳島】

日 時 / 令和5年12月26日(火)

場 所 / 徳島大学常三島キャンパス
※対面と遠隔の併用を予定

研修料 / 無料(どなたでも参加できます)

申込み / 専用WEBフォームから申込み
※申込期間等の情報は徳島大学高等教育研究センターホームページでお知らせします。



【参加者の声】

- 発表に対してのコメントが得られることで、自身の発表内容を新たな視点で見ることができた。
- 他の教員の取り組みについて、学部を越えて意見交換したり、知り得る機会があったことは大変有益であると感じた。
- 学生さんの発表については、学生側の視野・視点、思惑などを知ることができるため、今後も積極的に聴講したい。

SPOD内講師派遣プログラム

加盟校へ希望調査を行い、SPOD内の研修講師を年1回無料で派遣します。令和5年度のプログラム一覧は、SPODホームページに掲載しています。なお、対象にSPODと記載しているものは、開催校以外の加盟校教職員も参加可能です。プログラムに関することはSPOD事務局へお問い合わせください。

主に教員の方へ

新任教員研修

教員としてのキャリアパスの早期において基礎的な内容を学習できる新任教員等向けの研修を実施・公開しています。このプログラムは、どのコア校が主催する新任教員研修を受講しても同様の効果が得られるよう、標準化されています。

- 徳島大学 授業設計ワークショップ
- 香川大学 よりよい授業のためのFDワークショップ
- 愛媛大学 授業デザインワークショップ
- 高知大学 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ

【参加者の声】

- 様々な学習法について知り、実際にそれを講義の中で学生側の立場で体感できたことで理解が深まった。
- 模擬授業において、他の先生方からのコメントは非常にためになるものであり、自身の気付かない点を指摘してもらったことは本当にありがたかった。



授業デザインワークショップ

FD担当者研修

FD担当者研修は、各大学におけるFDの企画や実施の担当者を対象とした研修です。各加盟校において、それぞれの大学に適したFD活動を行うことのできるFD担当者の養成を行います。今年度はSPODフォーラム2023で実施します。

【参加者の声】

- 他大学とのグループワークを通じて情報を得ることができた。
- 職員としてカリキュラム編成にどのように関わっていくことができるのか参考になった。
- 所属大学のカリキュラムの問題点をよりしっかりと認識することができた。



ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ

各自の教育活動を振り返り、自身の教育理念、課題などを整理し、教育力向上、意識改革の一助となる「ティーチング・ポートフォリオ」(教育業績記録)作成に関するワークショップを実施・公開しています。

- ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ
- アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ
- ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップ(隔年開講)

【参加者の声】

- 専門や学問へのアプローチは違っても、教育への思いやそれを具体化するための方法については領域を超えて共通したものがたくさんあることを学んだ。
- 自身の教育・研究に対する考えや思い、改善点等を再認識する良い機会となった。



SPOD-FDプログラムのレベルについて

国立教育政策研究所が開発したFDマップ(FDプログラムを体系的に整理できる枠組(右図参照))を利用して、SPOD-FDプログラムのレベル分類をおこなっています。FDマップでは、横軸にFDプログラムを実施する対象を示し、「ミクロ・レベル(授業・教授法の開発)」「ミドル・レベル(カリキュラム・プログラム開発)」「マクロ・レベル(組織の教育環境・教育制度の開発)」に分類しています。縦軸はFDを実施する対象者の能力開発の段階を示し、4つのフェーズに分かれています。各プログラムのレベルとフェーズは、本紙のプログラム一覧に提示しています。

レベル フェーズ	ミクロ 個々の教員 授業・教授法	ミドル 教務委員 カリキュラム・ プログラム	マクロ 管理者 組織の教育環境・ 教育制度
I. 導入 (気づく・わかる)			
II. 基本 (実践できる)			
III. 応用 (開発・報告できる)			
IV. 支援 (教えられる)			

図:FDマップのフレームワーク

参考・引用文献:国立教育政策研究所 FDer研究会『大学・短大でFDに携わる人のためのFDマップと利用ガイドライン』国立教育政策研究所,2009

主に職員の方へ

大学人・社会人としての基礎力養成プログラム

着任早々の新任職員対象のプログラムは、四国4県から対象職員が参集し、大学職員・社会人としての基礎から学びます。その後、段階を追うごとに部下及び上司との関係性、管理職員としての視点、人材育成に資する能力を培うことなど、それぞれのキャリア段階に応じた研修プログラムを提供しています。プログラムの受講に加えて、参加者間の交流を通じた職員ネットワークの構築にも繋がっています。

- 新任職員
- レベルⅠ(係員相当級の職員)
- レベルⅡ(係長・主任相当級の職員)
- レベルⅢ(課長・課長補佐相当級の職員)

【参加者の声】

- 大学職員としての基本的な知識や振る舞いを学ぶことができた。(新任職員)
- 中堅職員として必要な心掛けや部下との接し方等を丁寧に教えていただき、とても勉強になった。(レベルⅡ)
- 大学の組織と運営、自校の戦略について考える機会が得られた。(レベルⅢ)



次世代リーダー養成ゼミナール

次世代のトップリーダーとして大学等の経営を担うために必要な「知識」「技能」「態度」を段階的に学び・修得する約60時間の総合研修プログラムを提供しています。本ゼミナールは、1年間で5回(1回あたり2日間程度)の日程で実施しており、プログラムは、「講義」「プロジェクト」「SD実践・演習」の3つの柱で構成されています。受講者は所属機関から推薦を受けた少数精鋭の職員です。

【参加者の声】

- プレゼン能力やコミュニケーション能力は、今回のゼミを通して大きく伸びたのではないかと感じる。また、いろいろな高等教育に関する理論や知識を学んだことで、自分の意見に説得力を持たせるにはどう議論を展開していけばいいのかを、さまざまな講義を通じて学ぶことができた。
- 意見が違うプロジェクトメンバーとの折衝を行う能力や、計画したことをやり切る力を身につけることが出来た。また、データを分析し、今後の課題を発見するという能力も身につけることができた。



SD担当者研修

SD担当者研修は、各大学におけるSDの企画や実施の担当者を対象とした研修です。SP ODでは、各大学等においてSDの自立的運営ができるSD担当者の養成を目指しています。今年度はSPODフォーラム2023で実施します。

【参加者の声】

- プレゼンの型に具体的な内容を当てはめて考えることで、どうしたら伝わりやすくなるのかを体感することができた。
- 日常業務に使えるスキルや考え方を整理して確認できる機会となった。
- 研修設計は講師が何を話したいかではなく、学習者が何を身につけるかが重要ということに気付きを得た。



SPOD-SDCについて

<SPOD-SDCの資格認定基準>

1. SPOD-SD(又は自大学におけるSD)講師を務めることができる。
2. 職員のキャリアプランニングをサポートすることができる。
3. 大学等における職員人材育成ビジョンの構築方法について説明することができる。
4. 大学等におけるSDプログラムの企画・立案ができる。
5. スタッフ・ポートフォリオの有益性を説明することができる。

※認定者:38名(国/公/私)(R5.3.31 時点)

SPOD-SDCとは?

SDコーディネーターの養成プログラムや次世代リーダー養成ゼミナールの修了者等で、資格認定基準を満たし、諸手続きを経て審査に合格した者には、SPOD-SDC資格が認定されます。SPOD-SDCの認定を受けた者は、所属大学等のSD推進に加えて、新任職員研修やSPODフォーラムなどの研修講師としても活躍しています。

各プログラムの詳細内容は SPODホームページをご覧ください



四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

SPOD = Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education

[TOP](#)
[SPODについて](#)
[各種リンク](#)
[サイトマップ](#)

[検索](#)

[研修プログラムガイドを見る](#)

[講師派遣プログラム](#)

[イベント情報](#)
※イベント詳細はこちら

SPODについて

- 設置目的
- 規約

学生の豊かな学びと成長を支援する
実践的力量をもった
高等教育のプロフェッショナルの輩出





SPOD内講師派遣プログラム
(香川大学)

年間一覧 | 月別カレンダーで
全プログラムをチェック

年間一覧 | 月別カレンダー

イベント情報はここから

開催県・開催方法・テーマ・
フリーワード等で希望に合う
プログラムを検索

[検索する](#)

URLはこちら▶
<https://www.spod.ehime-u.ac.jp/>





イベント情報

2022年度

04月 05月 06月 07月 08月 09月 10月 11月 12月 01月 02月 03月

年間一覧 | 月別カレンダー

日 月 火 水 木 金 土

4 5 6 7 8 9 10

11 12 13 14 15 16 17

18 19 20 21 22 23 24

25 26 27 28 29 30 31

【香川/FD】
学生の学びを
促すシラバス
作成能力
向上プログラム

【徳島・高知/FD】
オン
ライン授業の
効果的な
実施方法
について
考えるシン
ポジウム

【香川/FD】
遠隔から学ぶ
学習環境
の構築

【香川/FD】
シラバス・授
業計画書の
作成能力
向上プログラム

【徳島・高知/FD】
オン
ライン授業の
効果的な
実施方法
について
考えるシン
ポジウム

【香川/FD】
学生の学びを
促すシラバス
作成能力
向上プログラム

【徳島・高知/FD】
オン
ライン授業の
効果的な
実施方法
について
考えるシン
ポジウム

【香川/FD】
遠隔から学ぶ
学習環境
の構築

【香川/FD】
シラバス・授
業計画書の
作成能力
向上プログラム

タイトル・記事本文が検索対象です

[検索する](#)

タイトルをクリックして
プログラム詳細ページへ

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)とは

2008年度に設立し、四国地区の国公立大学・短期大学(四国地区に一部の学部等を置く大学を含む)及び高等専門学校によって構成され、加盟校の共同事業として運営しています。本ネットワークでは、質の高い教育を提供するため、4県に位置する「ネットワークコア校」を中心に、加盟校が協力・連携して、教職員の能力開発(FD・SD)に努めています。資源を共有することで、加盟校は、単独の組織では成し得なかったプログラムやサービスを楽しむことができます。ネットワークの活動を通じて、学生の豊かな学びと成長を支援する、実践的力量をもった「高等教育のプロフェッショナル」を四国から輩出することを目指しています。メインイベントの一つであるSPODフォーラムは2009年から実施しており、近年では四国の外からも多くの方にご参加いただいています。

SPOD案内チラシはこちら▶ https://www.spod.ehime-u.ac.jp/pdf/spod_chirashi.pdf



SPODは2018年に
設立10周年を迎えました。

SPODではメールマガジンを配信しています。登録はホームページの登録フォームで随時受け付けています。

各種研修プログラムのお申し込みについて

SPODホームページに各プログラムの詳細を掲載しています。

お申込方法や開催に関する情報はSPODホームページでご確認ください。

SPODフォーラムは受付期間中に掲載される専用の申込フォームからお申し込みください。

※各プログラムには受講定員があります。そのため、申込受付は先着順とさせていただきます。

※プログラムの開催は状況によって変更・中止となる場合があります。

URLはこちら▶

<https://www.spod.ehime-u.ac.jp/>



お問い合わせ先

FDプログラム

SDプログラム

徳島大学

〒770-8502
徳島県徳島市南常三島町1-1
<https://www.tokushima-u.ac.jp/>

学務部教育支援課教育企画室

TEL:088-656-7679 FAX:088-656-7292
E-mail:kykikakuc@tokushima-u.ac.jp

総務部人事課SD担当

TEL:088-633-7017 FAX:088-633-7474
E-mail:jn jihosak@tokushima-u.ac.jp

香川大学

〒760-8521
香川県高松市幸町1-1
<https://www.kagawa-u.ac.jp/>

教育・学生支援部修学支援課

TEL:087-832-1153 FAX:087-832-1155
E-mail:syugaku-h@kagawa-u.ac.jp

企画総務部給与福利課

TEL:087-832-1044 FAX:087-832-1054
E-mail:kyuyo-kensyu-h@kagawa-u.ac.jp

愛媛大学

〒790-8577
愛媛県松山市文京町3番
<https://www.ehime-u.ac.jp/>

教育学生支援部教育企画課FD担当

TEL:089-927-9154
E-mail:spod@stu.ehime-u.ac.jp

教育学生支援部教育企画課SD担当

TEL:089-927-9154
E-mail:spod@stu.ehime-u.ac.jp

高知大学

〒780-8520
高知県高知市曙町二丁目5-1
<https://www.kochi-u.ac.jp/>

学務部学務課

TEL:088-844-8467 FAX:088-844-8367
E-mail:y-spod@kochi-u.ac.jp

総務部人事課SD担当

TEL:088-844-8584 FAX:088-844-8119
E-mail:kj08@kochi-u.ac.jp

研修料について(SPOD加盟校外の方へ)

SPODは、加盟校の皆様の会費によって運営しています。そのため、原則としてSPOD加盟校以外の教職員の皆様は研修プログラムを受講する場合には、研修料を徴収させていただきます。研修料については下の表をご参照ください。ただし、下の表に関わらず外部委託する研修プログラムの研修料は、委託費の総額を受講定員で除した金額とします。

**SPOD加盟校の
教職員は無料!**

区分	2時間以下の プログラム	4時間以下の プログラム	1日で終了する プログラム	1泊2日の プログラム	2泊3日以上 のプログラム	SPODフォーラム (受講時間、日数にかかわらず)
研修料	2,000円	4,000円	6,000円	12,000円	18,000円	10,000円

令和5年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

活動報告書構成案

【本編】

1. 会長挨拶
2. SPOD事業の概要
3. 令和5年度事業計画
4. 令和5年度全体総括
5. 令和5年度活動実績
 - (1) 共通事業（SPODフォーラム、大学教育カンファレンス in 徳島、その他共通事業）
 - (2) FD事業
 - (3) SD事業
 - (4) SPOD運営
6. 令和5年度各加盟校の取組報告
7. 令和4年度事業評価委員会からの事業評価について
8. 令和6年度事業について

【資料編】

各種アンケート結果、研修詳細、会議等議事要旨 他

- (1) 共通事項（SPODフォーラム、大学教育カンファレンス in 徳島、講師派遣プログラム）
- (2) FD事業
- (3) SD事業
- (4) SPOD運営（総会、ネットワークコア運営協議会 等）
- (5) 参考資料（ネットワーク規約、役員名簿等）

【発行に関して】

- ・印刷は行わず、PDFデータのみ作成
- ・令和6年3月、SPODホームページで公開予定

令和5年度 F D／S D活動の取組報告

学校名： 学校名を記載してください。

【令和5年度の教育改革に関わる動向】

令和5年度の貴学におけるF D／S D活動について総括コメントを記載してください。

【F D／S Dの取組事例ハイライト】

令和5年度に実施したF D／S Dの取組事例について記載してください。

事例については、S P O D事業に関するものでも、貴学独自の取組でも構いません。

事例数に特に制限はありません。

【成果及び波及効果】

F D／S Dの取組成果及び成果に関する情報の公表（手段・媒体）について記載してください。

【F D／S Dに関わる次年度の課題】

令和5年度の取組内容を振り返り、次年度の課題や目標を記載してください。

※報告書はA 4用紙1枚以内（目安：1,000～1,200 字程度）で作成してください。

なお、補足資料がある場合は、別途添付してください。

※可能な限り、写真や図表の添付をお願いします。

※上記4項目について記載していただければ、内容や書き方は自由です。

=====

※本報告書は令和5年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」活動報告書に掲載する予定です。

=====

令和5年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

総会及びFD／SD分科会 実施概要（案）

1. 総会

日 時：令和6年3月中旬～下旬

実施方法：書面開催

出席者：各加盟校の代表者等

審議事項：

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約第9条6項に基づく事項

2. FD分科会

日 時：令和6年1月22日（月）13:30～14:30

実施方法：オンライン開催（Zoom）

出席者：各加盟校のFD担当者等

議 題：

令和5年度SPOD活動報告

令和6年度SPOD活動計画 等

※主にFD事業について、広く意見交換を行う

3. SD分科会

日 時：令和6年1月22日（月）15:00～16:00

実施方法：オンライン開催

出席者：各加盟校のSD担当者等

議 題：

令和5年度SPOD活動報告

令和6年度SPOD活動計画 等

※主にSD事業について、広く意見交換を行う

令和5年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

会計監査実施要項(案)

日 時:令和6年3月上旬

方 法:オンライン(Zoom)を予定

出席予定者:監事 加野 芳正(香川短期大学長)

監事 鈴木 康司(新居浜工業高等専門学校長)

対応者:中井俊樹企画・実施統括者(愛媛大学)、SPOD事務局

実施内容

- ①令和5年度事業実施状況報告書
- ②令和5年度事業予算執行状況報告書
- ③質疑応答

※会計監査結果については、令和5年3月中旬～下旬開催のSPOD総会において報告予定

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査実施要領

令和5年3月29日
ネットワーク総会決定

1. 監査実施者

監事(2名)

2. 実施日程

原則として毎事業年度3月中

3. 監査対応者

企画・実施統括者、SPOD事務局

4. 監査方法

対面または Web 会議システムにより実施する。

5. 主な監査事項

(1) 事業実施状況

(観点)

- ・事業計画どおりに事業が進捗しているか。
- ・代表校及びコア校の事業が適切な実施体制で行われているか。

(2) 当該年度予算執行実施状況

(観点)

- ・適切に経費が支出されているか。
- ・事業計画と支出の整合性がとれているか。
- ・経費削減可能な支出はないか。

(3) 前年度の会計監査における指摘事項の改善状況

6. 資料等

(1) 事前提出資料

- ・当該年度の事業計画及び予算計画
- ・当該年度の事業経費の収入支出がわかるもの(様式任意)
- ・当該年度の活動報告書

(2) 準備資料

- ・事前資料に基づき、監事が提出を求める資料
- ※その他、監査の過程で必要と認められる資料

7. 監査に関する事務

SPOD事務局が行う。

令和5年度 全学FD推進プログラム(SPOD共通事業) 第19回大学教育カンファレンスin徳島

参加費
無料

令和5年 **12月26日** (火)

9:00 ▶ 17:50 (8:30受付開始)

開催方法・開催場所

徳島大学常三島キャンパス

教養教育4号館(受付・メイン会場)

地域創生・国際交流会館(ワークショップ)

一部オンライン配信(Zoom)

主要プログラム

午 前

9:00 ▶ 9:10 開会挨拶

9:15 ▶ 10:15 □頭発表A・B・C
8件

10:30 ▶ 12:00 ワークショップ
2件

午 後

13:00 ▶ 14:00 ポスター発表
10件

14:15 ▶ 15:35 □頭発表D・E
8件

15:50 ▶ 17:50 特別講演 新しい対面授業を考える

東京理科大学 教育支援機構教職教育センター

教授 **渡辺 雄貴**先生

2020年度の大学の授業は、それ以前の授業形態によらず、否応なく全ての授業がオンラインでの実施となりました。2021年度後半から、対面授業が徐々に再開され、2022年度には多くの大学で全面的に対面授業が実施できるようになりました。再開された対面授業は2019年度の対面授業と同じでしょうか。オンライン授業の経験により得られた ICT 利活用に関する知識やスキルにより変化があったのでしょうか。

大学教育の多様化が進む中で、「学びとは何か」、「授業とは何か」を再考するときが来ていると考えます。オンライン授業の経験で得たことをもとに、「新しい対面授業」とはどのようなものかについて、教育工学、特にインストラクショナルデザインの観点から考察を深めたいと思います。



参加申込 申込締切 令和5年**12月25日**(月)正午

以下の URL または
二次元バーコードからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/SMseGf7E7V>

※メールアドレスはお間違いのないようご注意ください。また、携帯電話のアドレスは事務局からの案内メールが届かない場合がありますので、パソコンのメールアドレスをご登録ください。



注意事項

- 参加申込フォームにおける登録完了後、ご登録いただいたメールアドレス宛に、確認のための自動返信メールが送付されます。
- オンライン参加のためのパスワード等の情報については、令和5年12月22日(金)から随時ご案内予定です。
- 12月25日(月)正午以降のお申し込みについては事務局へお問い合わせください。

●当日の参加も可能です●

当日直接会場へお越しいただき、受付をしてください。

会場：徳島大学常三島キャンパス
教養教育4号館(受付・メイン会場)
地域創生・国際交流会館(ワークショップ)



※駐車場が限られているため、できるだけ公共交通機関をご利用のうえ、ご来場ください。

お問い合わせ・連絡先

大学教育カンファレンスin徳島事務局
徳島大学学務部教育支援課教育企画係

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地
TEL 088-656-7686 E-mail kykikakuk@tokushima-u.ac.jp

当日の連絡先：090-5710-6043 ※この連絡先は当日のみ有効です。

令和5年度 徳島大学全学FD推進プログラム・SPOD共通事業 「第19回 大学教育カンファレンス in 徳島」プログラム

会期：令和5年12月26日(火)

開催方法・開催場所：徳島大学常三島キャンパス(教養教育4号館・地域創生・国際交流会館)、一部オンライン配信(Zoom)

9:00～9:10 開会挨拶

9:15 10:15	口頭発表A ①メタ認知による大学生の深い学びの調査について ②COVID19禍の体験を生かした看護技術演習のICT教育 ③臨床系チュートリアル授業のデジタル化推進における課題	口頭発表B ①看護大学生の口腔保健行動と口腔ケアへの関心、臨地実習での体験 ②オンデマンド型授業におけるアクティブラーニング型授業実践報告 ③Fostering Global Health Literacy: Infusing Vitality into Medical English Education	口頭発表C ①2大学で共催するFDセミナーの開発と将来展望 ②学生生活をテーマとした交流型学生企画の成果と課題
10:30 12:00	ワークショップ Aインプロ(即興演劇)を体験してみよう! -Give your partner a good time!- B教員の自己成長を支える「しかけ」としてのパターン・ランゲージ ——「実務家教員のためのパターン・ランゲージ」を例として		
13:00 14:00	ポスター発表 ①公開講座実習用教材へのAIペアプログラミングの導入 ②徳島大学i.schoolでの学びと成長 ③南海トラフ地震臨時情報が発表されたら徳島大学の教育は?! ④地域おこし協力隊と協働した地域課題に挑む共創教育の実践 ⑤キャリア教育におけるキャリア形成意識の調査結果と考察 ⑥学生プロジェクト活動におけるものづくりの課題 ⑦機器利用における講習の方法とその成果 ⑧歯科衛生学教育におけるブレンド型授業の実践 ⑨プレFD段階におけるパターン・ランゲージの活用と知識生産(1) ——Gibbons,M.のモード論を補助線として ⑩プレFD段階におけるパターン・ランゲージの活用と知識生産(2) ——私たちはパターン・ランゲージを媒介として何を考えたか		
14:15 15:35	口頭発表D ①徳島大学入試結果50年を振り返る ②教養教育におけるESD講義の実施と意識変容の検証 ③SDGsを主題にした講義「環境を考える」での学生実践の取り組み ④オンライン授業の経験を活用した対面授業改善の取り組み	口頭発表E ①鳥人間プロジェクト活動報告(2021-2023) ②ゲーム制作から振り返る学生プロジェクトを成功に導く為に実践したこと ③レイアウト伝達演習によるコミュニケーション能力向上の取り組み ④学習者の能動性を活かした授業共創の試み	
15:50 17:50	特別講演 演題「新しい対面授業を考える」 講師:渡辺 雄貴先生(東京理科大学 教育支援機構教職教育センター 教授) ディスカッション テーマ:「講演に対する質問や日常の教育活動を進めるうえで困っていること」 コメンテーター:渡辺 雄貴先生(東京理科大学 教育支援機構教職教育センター 教授) 齊藤 隆仁(徳島大学 FD委員会委員長 教授) 吉永 哲哉(徳島大学 医学部保健学科教務委員長 教授) ファシリテーター:吉田 博(徳島大学 高等教育研究センター 准教授)		

18:20～ 情報交換会(徳島大学5²第三島キャンパス 生協食堂Kirara)